

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	文学概論	
科目基礎情報							
科目番号	0075			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	特に使用しないが、随時『国語便覧』とプリントで対応する。						
担当教員	勝田 好洋						
到達目標							
1. 近世文学史を概観し、近世文学に関する知見を深める。 2. 三重県出身の近世文学者に関する知見をもつ。 3. 松尾芭蕉の『奥の細道』を読み解く。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	近世文学史を概観し、近世文学の特徴を捉えることができる。		近世文学史を概観できる。		近世文学史を概観できない。		
評価項目2	三重県出身の近世文学者について、特徴を挙げ説明できる。		三重県出身の近世文学者について説明できる。		三重県出身の近世文学者について説明できない。		
評価項目3	『奥の細道』について、興味・関心をもって読み解くことができる。		『奥の細道』について、読み解くことができる。		『奥の細道』について、読み解くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	4年生後期の半期講義ではあるが、特に松尾芭蕉の『奥の細道』を読み解くなかで、芭蕉の人生観に触れ、俳諧への興味・関心に繋げたい。						
授業の進め方・方法	①授業で用いる教材は、随時、プリントを準備するが、『国語便覧』も活用しながら授業を進めるので、常に準備すること。②特に松尾芭蕉は近世を代表する文学者の一人でもあり、三重県民としては、忘れてはならない文学者である。したがって、芭蕉の思いに触れながら、机上での「前途三千里への旅」に同行したい。						
注意点	①授業中は学習に集中して取り組むこと。日々の授業態度が評価割合の「態度」として位置づけてある。②与えられた課題は提出期限を厳守する。提出物については評価割合の「ポートフォリオ」として位置づけてある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 学史①		近世文	授業の取り組み方、諸注意などの説明を受ける。 近世文学史を概観し、近世文学に興味・関心をもつことができる。	
		2週	近世文学史②			近世文学史を概観し、三重出身の文学者にアプローチし、興味・関心をもつことができる。	
		3週	近世文学①			三重県出身の文学者、松尾芭蕉の『奥の細道』について概観し、読み解く興味をもつことができる。	
		4週	近世文学②			『奥の細道』①を読み解くことができる。	
		5週	近世文学③			『奥の細道』②を読み解くことができる。	
		6週	近世文学④			『奥の細道』③を読み解くことができる。	
		7週	前期中間試験			問題の指示に従って、正しい解答を作成する。	
		8週	試験の解答解説			試験問題について、正しい解答の導き方を確認する。	
	4thQ	9週	近世文学⑤		『奥の細道』④を読み解くことができる。		
		10週	近世文学⑥		『奥の細道』⑤を読み解くことができる。		
		11週	近世文学⑦		『奥の細道』⑥を読み解くことができる。		
		12週	近世文学⑧		『奥の細道』⑦を読み解くことができる。		
		13週	近世文学⑨		『奥の細道』⑧を読み解くことができる。		
		14週	近世文学⑩		『奥の細道』⑨を読み解くことができる。		
		15週	前期末試験		問題の指示に従って、正しい解答を作成する。		
		16週	試験の解答解説		試験問題について、正しい解答の導き方を確認する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	20	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	20	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0